

大手企業

2輪車と船外機を中心に連結売上高の約9割を海外が占めるヤマハ発動機は、さらなるグローバル化に向けた体制構築を急いでいる。人材育成では、入社後4年目までにすべて



スズキは国内で約100万台、インドなど海外で約180万台生産している

の社員に海外出張や海外駐在などの海外経験を積ませるプログラムを1月から開始。調達ではインドのニューデリー市で「インド調達センター」を1月に稼働し、タイ、中国、インド、日本の世界4極体制での部品の調達体制を整えた。

また開発機能についても4月にタイで開発拠点「アセアン統合開発セ

ンター」を稼働。将来は同様の開発拠点を台湾や中国にも展開し、現地ニーズに合った製品開発を行う計画だ。

スズキは世界で年間約280万台の自動車を生産・販売している。このうち国内生産は約100万台で、約180万台をインドなど海外の現地で生産販売している。鈴木修会長兼社長は「将来（年間生産台数）300万台を超える時には200万台以上は海外で、国内は100万台以下になる」と想定。自ら海外工場を飛び回るとともに、海外への社員の派遣も増やしている。

ヤマハは音楽の演奏を楽しむ人を増やして楽器の需要を増やすことを目的に、世界40カ国以上の国と地域で「ヤマハ音楽教室」を展開している。1958年にメキシコに初の海外拠点を設置して以来、拡大してきた。近年では楽器演奏者の裾野を広げるために、家族でバンドを組むなどして演奏を楽しむ「ファミリーアンサンブル」の普及にも力を入れている。4月には家族で演奏する歌のコンテストをインターネット上で開催するなど、参加者が楽しめる工夫をして、業界を活性化している。

グローバル化進む県内企業

中堅・中小

輸送機器部品を手がける中堅・中小メーカーは海外展開を加速している。杉本金属工業（静岡県駿河区）は、3月にタイでプレス部品の生産を始めた。タイの家電メーカーであるSNCフォーマー（サムットプラカーン県）と合併で、まずエアコンなど家電向けを生産する。その後、日系メーカー向けを中心に自動車部品の生産を始める方針。投資額は2億円。初年度売上高6億円を見込んでいる。

日本プラストは13年夏をめどに中国・中山市にエアバッグの新工場を建設する。同社にとって中国で3番目の工場。投資額は約10億円で年産能力は200万台分を計画する。新工場稼働により、13年の中国での生産量は現在比約2倍の年間430万台分となる。新工場には同社の中国拠点で初の開発機能も置く。

金型部品が主力のサンエイ（静岡県掛川市）はこのほどタイ工場（チャエンサオ県）からインドネシアへの金型部品の輸出を始めた。タイ



ジャスコの掛川工場ではムダを省くことで生産台数を増やす

工場の生産量を金額ベースで30%増の年間2億3000万円分に引き上げ、輸出分を増産する。日本の工場を介さずにタイから直接輸出することで「円高の影響を抑える」（伊藤友和社長）考えた。

変速機メーカーのジャスコもメキシコ、中国に次いで13年秋にはタイ工場の稼働を目指すなど海外展開を加速する。一方、掛川工場（掛川市）ではスズキの軽自動車や小型車

向けの無段変速機（CVT）の月間生産台数を、12年秋までに30%増の3万5000台にする計画だ。単純な設備の増強で対応せず、「ムダを省いて1時間当たりの生産台数を増やす」（本田聖二副社長）ことで増産。これによりコストを低減し、円高や完成車メーカーの海外生産移転により環境が厳しい国内生産をも守る考えだ。

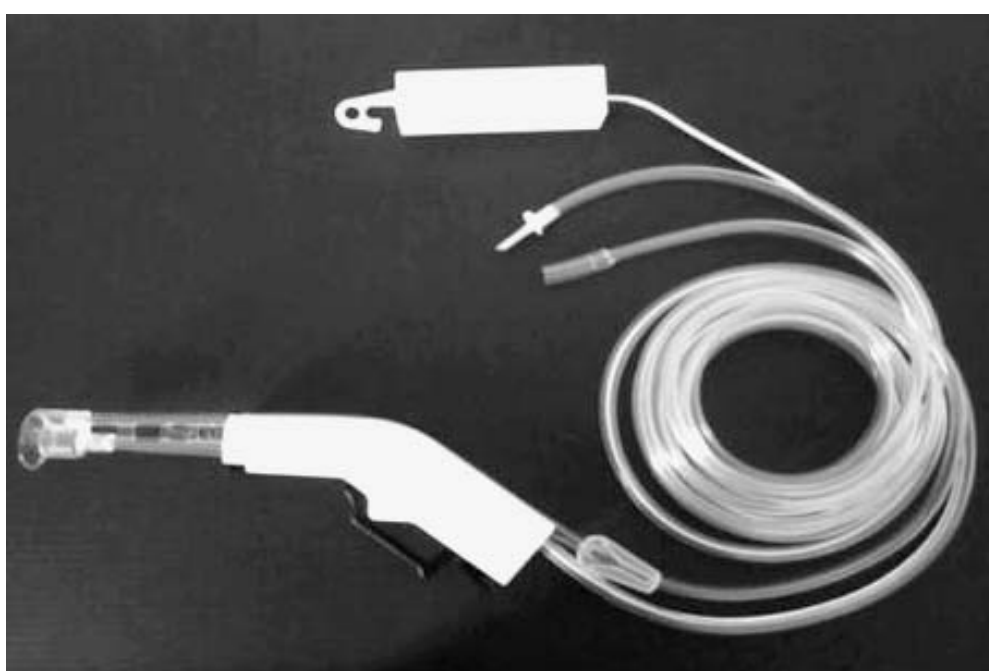
内陸フロンティア 魅力ある地域に

静岡県は2012年度当初予算は雇用対策、地震・津波対策、少子化対策、エネルギーの地産地消への取り組み、内陸フロンティアの魅力ある地域づくりの五つの分野の施策を重点的に進める。地震・津波対策に前年度比2.3倍の236億円を計上したほか、新東名高速道路が開通するのを機に、工場団地造成など内陸部を開発する事業を進める。

目玉となるのが内陸フロンティアの魅力ある地域づくりだ。4月14日の新東名開通を機に、新東名の全サビエスエリア（SA）とパーキングエリア（PA）に臨時のヘリポートを整備する防災・減災事業に重点を置き、新東名の優位性を活用して中山間地域、内陸部を新たに開発し、魅力ある地域づくりを目指す。4月17日に市町村との事務レベルですり合わせを行う推進組織を立ち上げた。たたき台をつくり、経済界を加えた協議会を経て、夏までに計画をまとめ上げ、9月末までに国の総合特区制度に申請する。

沿岸部からの工場移転などの受け皿となる地域づくりを進めるため、高台移転などの土地利用の規制緩和、さらに沿岸部からの移転企業に対し、現行制度での対応に加え、もう少し移転しやすい助成も今年度検討していく方針。東日本大震災

新東名活用し物流強化



特区申請し中小参入促進
健康医療の城下町形成

ファルマバレープロジェクトで商品化にこぎつけた整形外科用洗浄器

工場団地整備や規制緩和

静岡県の2012年度当初予算は雇用対策、地震・津波対策、少子化対策、エネルギーの地産地消への取り組み、内陸フロンティアの魅力ある地域づくりの五つの分野の施策を重点的に進める。地震・津波対策に前年度比2.3倍の236億円を計上したほか、新東名高速道路が開通するのを機に、工場団地造成など内陸部を開発する事業を進める。

東海・北陸各県レポート

して物流機能を内陸にも持たせるなど防災、減災に重点を置いた地域づくりを進め、6次産業化、新エネルギー導入にも取り組んでいく。また、特に注目度の高いプロジェクトのファルマバレープロジェクトで商品化にこぎつけた整形外科用洗浄器

「究極」超硬ホルダー最終進化
まるでソリッド

より強く
より深く
より長く

max V point

タンダステンヘッドがボーリング加工を変える

有限会社 曾根田工業 〒438-0233 静岡県磐田市駒場1-12
TEL0538-66-8605 FAX0538-66-8645

ホームページ <http://www.toolnavi.jp/> facebookページ <http://www.facebook.com/sonedakougyou>

セラミックから金属まで……

進化する無限の技術

大々大の溶射

溶射技術の受託研究開発から量産・試作・精密研削加工

プラズマ・アーク・メタライジング・自溶性合金
単品多種——小物——大型部品

オオスズ技研株式会社

本社・工場 〒435-0016 静岡県浜松市東区和田町773-1 ☎(053)463-1151 FAX (053)464-2962
名古屋(支) 〒452-0001 愛知県清須市西枇杷島町古城2-16-4 ☎(052)505-7744 FAX (052)505-7741
URL <http://www.ohsuzu.jp> E-mail info@ohsuzu.jp

エア配管から出る水で困っていませんか?

ドライセパレーターのこと、
もっと詳しくお伝えしたいので
是非、弊社ホームページを
ご覧くださいませ。
よろしく願います。

超高速サイクロン方式
圧縮空気除湿清浄装置

ドライセパレーター

検索

<http://www.dryseparator.com>

メンテナンスフリー／長寿命設計
フィルタ交換不要／電源不要
ランニングコスト「ゼロ」

日本オオスズ技研株式会社
静岡県浜松市東区流通元町10番4号
お問い合わせ TEL 053-423-4500
FAX 053-423-4502

コンテナ・超高精度計量装置・自動倉庫などでシステムを構成 生産変動や多品種少量生産に対応可能な マルチ粉体計量システム

コンテナシステム

コンテナと排出機構をドッキング。流動性の悪い粉粒体の完全排出に!

紙袋粉体吸引装置
パウダーワープ

コンタミ皆無の状態
で、中身の粉体を次
工程に吸引移送する
装置。

ISO-9001
ISO-14001
認証取得

スプリット
バタフライバルブ

原薬製造など高薬理活性物質をあつかうプロセスでは「封じ込め」技術が重要です。そして原薬の小分け・容器間の移し替え、乾燥機や反応釜へ投入・排出などではスプリットバタフライバルブが多く使用されています。

運ぶ・貯める・計るを1つの機器で行う、オールインワンユニット

かるがるコンベア

振動ダンパー式フィーダ「かるがるフィーダ」に「吸引輸送装置」を合体させ、さらにロードセルにより排出量をコントロールすることに成功しました。「運ぶ」「貯める」「計る」が、この一台で実現します。

吸引輸送装置（バキュームコンベア）
積算式計量装置
振動ダンパー式フィーダ（かるがるフィーダ）

その他取扱品目

・連続定量供給装置 ・パッチ軽量装置 ・小型吸引輸送装置 ・空気輸送装置 ・スクリーンフィーダ
・バグフィルタ ・ロータリーバルブ ・特殊布製サイロ ・貯留サイロシステム

資料送付・テスト迅速対応! TEL055-925-6666またはTEL03-3263-3407

赤武エンジニアリング株式会社

本社 〒410-0302 静岡県沼津市東椎路632 TEL(055)925-6666 FAX(055)925-6688
東京営業所 〒102-0072 東京都千代田区飯田橋1-5-8 TEL(03)3263-3407 FAX(03)3263-3405

●当社のホームページ及びE-mailアドレス <http://www.akatake.co.jp> info@akatake.co.jp